



第211号

平成28年10月1日

小松市史編纂事務局

へんさんだより



# 市史へんさん

残暑もやわらぎ、日増しに秋の深まりを感じる季節になりました。街路樹も赤や黄色に色づき始め、虫の音が秋をよりいっそう感じさせてくれます。

小松天満宮の宝物館の開館が待たれますが、市民の皆様の天満宮への関心も高めようと、図書館とのタイアップ事業として、先月24日に、『天神と文学』をテーマに、綿拔豊昭筑波大学教授にご講演していただきました。天満宮と言えば天神様なので、図書館との共催ということで文学にも関連して、天神様にまつわるいろいろな話題を提供していただきました。下記にその一部を紹介します。今後もこうした関連講座を企画していきたいと思っておりますので、皆様も多数ご参加ください。



こまつ市民読書の日講座

図書館共催事業



## 天神と文学



会場：図書館1階視聴覚室

「天神様」といえば、天満宮または菅原道真のことですが、この両者の結びつきは、道真の大宰府への左遷に遡ります。道真は学問に長け、破格の昇進を遂げますが、陰謀によってその地位を追われ、大宰府に流され、失意のうちに亡くなります。その後、落雷や疫病などいろいろな祟りを引き起こしその霊の鎮魂のため、北野天満宮に祀られました。こうして天神信仰が生まれたのです。

昔から、勉強をすれば出世できるという時代がありました。勉強するとそれなりの将来が約束されると思っていた時代があって、自分の努力に加え、神様(天神様)にもお祈りをしたものです。受験シーズンになると今でも天神様にお参りに行くのはこの時の習わしからです。

天神様と梅鉢との結びつきも、大宰府へ出発する時に歌った、「東風(ひ)ふかばにほひをこせよ梅の花 主なしとて 春を忘るな」からで、飛梅伝説と謂われます。庭の梅が大宰府まで飛んでついていったことから梅が道真の象徴的なマークとなりました。梅は好文木(クワブンボク)といって、寒い辛い環境でも一番先に花を咲かせ、苦勞して努力して咲くところから、学問の好きな人のところに咲く花とされ、正に道真そのものを物語っています。こうして道真は梅鉢の紋で必ず描かれるようになります。ちなみに梅との対は桜、桜といえば小野小町です。

天神様にまつわる話は多く、いろいろな天神様が出てきます。石榴(ザク)をかじって口から火をはく石榴天神、道真がよく乗物にしていた黒牡丹(=牛)に乗る牛乗り天神、利発な子供の頃の姿を現わす童子天神、大宰府へ行く途中での休息時に敷いた綱を巻いた座布団に座る綱敷天神、中国(=唐)に飛んで行ったという、中国の格好をして梅を持つ姿がお決まりの渡唐天神、天皇も神様となった天満大自在天神、これを江戸期では絵師が絵に描いて、庶民にはまじない的な縁起物として普及していきました。

江戸期の庶民の文芸は俳諧が盛んでしたが、切れ字や季語などの決まり事が多く、それより規制にしばられず、機知に富む川柳(セリユ)がにわかに流行っていました。川柳を集めた『誹風柳多留(ハイフウヤナギタル)』に、「御先祖はきれひなまたの御出生」という句があり、御先祖とは前田家の先祖、すなわち菅原道真を指し、梅のところから出てきた子供(=菅原道真)から始まっていることをぼかして詠んでいます。世間には、前田家の祖先が道真で、その象徴が梅であることは広く知れ渡っていたようです。

## 『新修 小松市史 資料編 14 産業』目次

今年度発刊予定の標記「産業編」の目次が下記のように決まりました。現在、執筆、校正中です。

今回の附録のDVDは、尾小屋鉾山の当時の動画資料や産業別に写真で活動状況や製品などを紹介します。

### 《目次》

- 第1章 繊維産業
- 第2章 工業  
小松製作所／鐵道と電力
- 第3章 鉾山業  
尾小屋鉾山／金平鉾山／遊泉寺鉾山／石材業
- 第4章 温泉業  
栗津温泉／瀬領温泉
- 第5章 農林水産業  
農業／製茶と藺草／林業／水産業
- 第6章 産業関連名簿

## 【考古部会発足】

現在、市史の専門部会は、産業部会の他、建築部会、教育部会が調査活動していますが、今年度より、「考古編」の発刊に向けて、部会がスタートしました。平成31年度発刊予定です。

委員の皆さんは次のとおりです。

部会長：三浦 純夫(県埋蔵文化財センター参事)

委員：山本 直人(名古屋大学大学院教授)

垣内光次郎(県教育委員会文化財課課長補佐)

樫田 誠(市埋蔵文化財センター所長)



### ＜事務局10月の活動予定＞

- ・ 10月 1日(土) 考古部会
- ・ 10月 6日(木) 教育関係調査(日末小学校)
- ・ 10月 6日(木) 薬師如来堂(八幡)実測調査
- ・ 10月 7日(金) 教育関係調査(今江小学校)
- ・ 10月 7日(金) 教育関係調査(安宅小学校)
- ・ 10月 9日(日) 憩いの森中村・米谷家実測調査
- ・ 10月10日(月) 町家実測調査
- ・ 10月12日(水) 町家実測調査
- ・ 10月13日(木) 教育関係調査(松東中学校)
- ・ 10月18日(火) 町家実測調査
- ・ 10月19日(水) 教育関係調査(南部中学校)
- ・ 10月27日(木) 産業部会

### ＜事務局9月の活動状況＞

- ・ 9月 6日(火) 建築部会
- ・ 9月14日(水) 教育部会
- ・ 9月14日(水) 農家・近代建築悉皆調査
- ・ 9月24日(土) こまつ市民読書の日講座(図書館共催)
- ・ 9月28日(水) 小松高校記念館実測調査
- ・ 9月28日(水) 自動車博物館明治記念館実測調査
- ・ 9月29日(木) 町家実測調査
- ・ 9月30日(金) 石材関係資料調査

### ＜10月のカレンダー＞



| 日曜日   | 月曜日   | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 |
|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
|       |       |     |     |     |     | 1   |
| 2     | 3     | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   |
| 9     | 10    | 11  | 12  | 13  | 14  | 15  |
| 16    | 17    | 18  | 19  | 20  | 21  | 22  |
| 23/30 | 24/31 | 25  | 26  | 27  | 28  | 29  |

は小松市史編纂事務局が閉室しています。10/1～10/3は、蔵書点検で図書館は休館です。

小松市史編纂事務局（小松市立図書館2階）

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19 ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail [hensansitu@city.komatsu.lg.jp](mailto:hensansitu@city.komatsu.lg.jp)
- ・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>